

第1号議案

2022年度事業報告書

学校法人宮崎学園
大阪ペピイ動物看護専門学校

1. 概況

22年度は、第1回愛玩動物看護師の国家試験が開催された記念すべき年となりました。

本校は、22年5月に養成校の認定を受けましたが、それに先立つ4月には、愛玩動物看護師資格を目指して新カリキュラムを受講する初めての学生、約120名が入学してきました。新カリキュラムは3年制となりますので、2年制は23年3月22日卒業の学生が最後となりました。

また、2014年以降に入学した既卒者は予備試験なしで、それ以前に入学した卒業生で5年以上の動物看護やそれに準ずる経験を持つ現任者は予備試験を経て、それぞれ受験することが可能でした。結果的に、既卒者・在校生の受験者数、合格者数は、専門学校中日本一でしたが、残念ながら3月卒業予定の在校生134名中数名が不合格となりました。

新型コロナウイルス感染症については、22年度も学校運営に大きな影響を及ぼしました。本校としては、引き続き学内での感染拡大防止ルールを徹底してきましたが、それでもこの1年で約100名の感染者が確認されました。幸いにも重症化した学生はほとんどありませんでしたが、22年度も主要な学校行事を中止といたしました。その中で、2023年3月には、4年ぶりに大分研修を再開し、学生達には貴重な経験をしてもらうことができました。卒業式も、3年ぶりに来賓・保護者の方々をお招きして開催いたしました。

23年5月からは5類感染症に移行し、一般的にはマスク着用も本人の判断となりましたが、本校としては第9波の発生に備え、学校医との確認により学内でのマスク着用を継続しております。一方、令和5年度の学校行事につきましては、体育祭の再開を決定しており、WEB開催のセミナーについても、必要に応じて対面方式に切り替える予定です。

2. 教育活動

2022年4月6日 入学式（常勤教職員・対象学生のみで開催）

7月19日～28日のうち7日間 前期動物看護総合実習

9月30日 2・3年生特別授業「愛玩動物看護師の今後」細井戸大成先生

10月29日 教育振興会総会・教育懇談会

11月1日 体育祭の代替行事として舞洲アリーナ屋内で軽運動＋ラリーを実施

2023年1月14日 2・3年生特別授業「V-MATの活動について」船津敏弘先生
同「キャットフレンドリーについて」吉内龍策先生

2月9日 1年生特別授業「命の授業」今西乃子先生

(2月19日 愛玩動物看護師国家試験)

2月27日～3月8日のうち7日間 後期動物看護総合実習

3月12日～16日(3班に分かれ、各2泊3日) 大分研修

3月22日 卒業式(4年ぶりに来賓・非常勤講師・保護者と共に開催)

3. 学生募集状況および学籍者

入試に関しては、AO入試、指定校・一般入試を併せて179名の出願がありました。募集人員は、国家資格化の対応により、前年と同じ3年制の総合学科のみの120人としました。

○在籍者数(カッコ内は休学者、外数)

2022年4月1日現在

学科名	修業年限	1年	2年	3年	合計
動物看護学科	2年	(5)	69 (1)		69 (1)
動物看護総合学科	3年	122 (2)	77 (8)	71	270(10)
合計		122 (2)	146 (9)	71	339(11)

2023年4月1日現在

学科名	修業年限	1年	2年	3年	合計
動物看護総合学科	3年	127 (6)	108 (6)	72 (1)	307(13)

4. 重点実施項目について

1) 教育力と学生指導力の向上

昨年度は、愛玩動物看護師の国家資格化により、教職員全体での研修会は中止し、教員が自己研鑽によってその資格取得に集中することとしました。

その結果、認定看護師の資格を持つ教員12名が受験し、全員合格しました。

2) ペピイグループやNKスクエア玉造と連携した新たな魅力づくりの推進

新日本カレンダー・ペピイ事業部との連携強化を目指し、定期的に会合を開いてきましたが、PHPの猫のロンパールームやペピイカフェの利用拡大などの新たな取り組みを始めようとする中で、学校としても参加・協力の機会を持つことが決まっています。

3) 1年生の離脱者6%以下

22年度は、当初122名が入学したものの、10名が退学しました。昨年に比べて人数は減少しましたが、率では8.2%と前年を上回りました。(前年度は11名・7.1%)

退学の原因は複合要因であり、必ずしも退学届に書かれたものとは限りませんが、進路変更・精神面の不調・学力不振が各3名となっています。(複数回答・全回答数は15)

特に、昨年からは3年制のみとなったため、早めに進路変更を決断したと考えられ、10月以降に推薦や一般入試で入学した者に休退学者が多いことから、動物看護師を目指すとするモチベーションの問題が、精神面・成績に影響しているものと思われます。

入試において、動物看護師になるモチベーションの確認をより強化すべきであると考えています。

4) 就職決定率100%

卒業生	就職希望者	就職決定者	率	動物病院希望者	動物病院決定者	率
134	131	130	99.2	129	128	99.2

就職希望者から1名のみが内定獲得できませんでした。

しかし、今年から始まった国家試験のため、就職先未定の者がどっちつかずとなって両方逃してしまうことがないように、年明け以降就職先未定の者と話し合いを持ち、勉強に専念した者が希望者から外れるケースもありました。

全体的に、動物病院側の採用活動が早まる傾向にあるため、今後は本校の就職関連スケジュールを早めることができるところから前倒しするよう努力していきます。

○2022年度就職関連の取り組み

キャリアデザインセミナー（道盛央幸先生）

22/1/22 就活準備・自己分析

22/1/29 履歴書の書き方

22/2/5 見学前・実習中のマナー

22/3/25 履歴書を完成させよう

22/7/2 動物看護総合実習について

22/9/29 総合実習振り返りと就活について

23/1/14 社会人準備

社会人基礎力育成講座 入職前研修 22/12/3

保護者向けセミナー 22/4/23 参加16名

WEB就職セミナー（春）22/3/28（秋）10/8

就職ガイダンス 22/1/22・3/25・4/12～22・7/2

5) 愛玩動物看護師国家試験に対する万全の対応

今年も直前に試験対策を行い、卒業予定者134名が受験しましたが、8名が不合格となりました。（合格率94.0%、全国平均88.9%、既卒者・在学者平均86.3%）

初めての国家試験と言うことで、万全の対策とはなりませんでしたが、今年の実験を生かし、より高い合格率を目指していきます。

6) 学生の動物看護師としての価値向上

学力面での対策としては、基礎学力講座の開講や一般教養資格取得奨励などを行いました。ただし、漢検やペン字の資格取得報告はありませんでした。以前から実施しているオフィススペシャリストを含め、必要性の認識を上げていくことが必要と考えています。（オフィススペシャリストは21年度9名、22年度8名）

今年度から実施する選択授業や特別授業で、愛玩動物看護師として必要な知識に加え、 $+\alpha$ を強みとして身につけられるようなカリキュラムを組むよう工夫していきます。